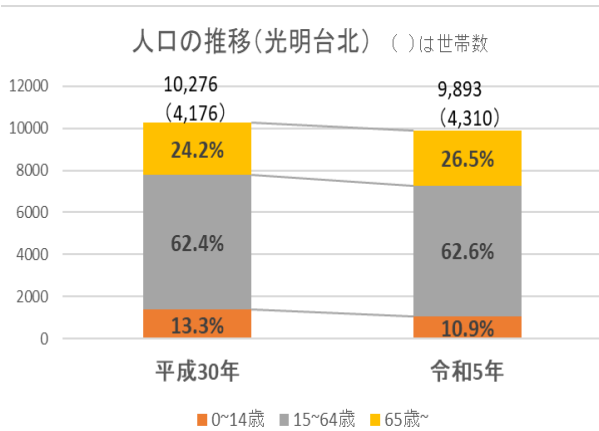


光明台北校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	16
	校区社協役員数	13
	校区社協ボランティア数	49
	民生委員・児童委員数	13
	老人クラブ会員数	344
	いきいきいずみ体操数	3
	おたがいさまサポーター数	30
	高齢者見守り協力事業所数	2
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
	自主防災組織の有無	有
対象者数	ふれあい訪問利用者数	24
	誕生月訪問利用者数	126
	避難行動要支援者登録数	61

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
2.買物が便利なまち	
3.幅広い世代の人々の交流や付き合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.地域の誰もが参加できる地域食堂	2.思いっきり遊べる広い公園や広場
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.雨の日でも遊べる場所
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.地域や世代を問わない誰もが食を通じて集える場づくり	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.子ども食堂	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2.高齢者の地域での見守り訪問	3.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
2.施設などへの慰問及び交流のための訪問	

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 校区として大事にしてきた住民の交流の場であるサロン活動を継続、充実に努めて行こう。参加者やボランティアの拡充も目指していく。

あいさつ、ありがとう運動を通じ、地域の絆を高める

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 見守り活動を充実させて、もっとみんなが住みやすい町を作る

【具体的な取り組み】

- 地域全体での「あいさつ、ありがとう運動」を通じて、住民のつながりを作り、認知症の方や家族、誰もが住みやすい地域作りを目指す
- 認知症サポーター養成講座を積極的に実施する
- 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者等の見守り方法を検討する

重点取り組み②

【目 標】 ふくしの輪をさらに充実させる

【具体的な取り組み】

- いきいきサロンや趣味のサークル活動をふやす
- 散歩や清掃活動を行い、交流のきっかけを増やす
- 老人会、民生委員児童委員、校区社協ボランティアが連携するため、情報共有の場を作る

重点取り組み③

【目 的】 広報誌を発行し、地域のつながり作りに活かす

【具体的な取り組み】

- 地域の様々な活動等の情報を発信するために、広報誌等を作成する
- 世代間交流をさらに進める
- 友達作戦、近所の人に、広報誌等を有効活用して、活動の参加の声掛けを行う

